

いばらき幸福度指標の導入

◆茨城県が考える幸福

県民一人ひとりが未来に希望を持つことができ、自身のなりたい自分像に向かって一歩でも二歩でも近づいていけるよう、挑戦を続けられること

◆目的・概要

- ・今まで抽象的だった幸福を「見える化」 → 県民一人ひとりの幸せが実現できる環境の状況を数値で把握
- ・全国順位を算出 → 政策課題の明確化、本県の豊かさ・暮らしやすさをわかりやすく発信

設定のポイント

- 公表されている**政府統計等**を基に、**客観的指標**で幸福を定量的に把握
- 計画に掲げる**チャレンジごと**に特色となる**キーワード**を抽出し、関連する38指標を設定
- 幸福に関する**学識経験者、総合計画審議会等の意見**を基に、**指標とする項目や算出方法**を設定。社会情勢の変化に対応し、**今後も不断の見直し**を行う。



幸福度指標
ロゴマーク

順位の算出方法

- 先行研究を参考に(※2)、単位などが異なる統計値を比較可能とするために、**統計値を標準化変量に変換**し(※3)、**均等加重で合算**
- キーワードごとの指標数の差により**特定分野の重みづけが生じないように**、1つのキーワードに複数の指標を設定する場合、「キーワード内の**標準化変量の平均値**」を幸福度の算出に用いる

※2 2012年より客観的指標で「47都道府県幸福度ランキング」を作成する(一財)日本総合研究所の算出方法に準拠

※3 その数値が平均値からどれだけ離れているかを表したもの。学校のテスト等で用いる「偏差値」と同義。

偏差値 = (標準化変量) × 10 + 50





● 新しい豊かさ

雇用

- ①雇用者報酬（雇用者1人当たり）
- ②正規雇用率

産業振興

- ③県民所得（県民1人当たり） ④工場立地件数
- ⑤労働生産性（1時間当たり）

農林水産業

- ⑥農林水産業の付加価値創出額（県民1人当たり）

観光振興

- ⑦外国人宿泊者数 ⑧国内旅行者数

環境保全

- ⑨CO2排出量（県民1人当たり）
- ⑩一般廃棄物リサイクル率

● 新しい安心安全

地域医療・ 介護・保健

- ①医師数 ②看護職員数 ③介護職員数
（いずれも県民10万人当たり）
- ④介護・看護を理由とした離職率
- ⑤自殺者数（県民10万人当たり）

健康長寿

- ⑥健康寿命

障害者 自立支援

- ⑦障害者雇用率

犯罪防止

- ⑧刑法犯認知件数（県民千人当たり）

防災対策

- ⑨自主防災組織カバー率
- ⑩自然災害死者・行方不明者数

● 新しい人財育成

教育振興

- ①子どものチャレンジ率 ②大学進学率
- ③学力 ④教員のICT活用指導力

出産・育児

- ⑤合計特殊出生率 ⑥待機児童率

学び・文化 ・スポーツ ・遊び

- ⑦教養・娯楽（サービス）支出額
- ⑧都道府県指定等文化財件数
- ⑨子どもの運動能力

多様性・ 女性活躍・ 人権・

- ⑩パートナーシップ制度人口カバー率
- ⑪女性の管理職登用率
- ⑫人権侵犯事件件数（県民1万人当たり）

働き方

- ⑬実労働時間

● 新しい夢・希望

国際交流

- ①留学生数（県民10万人当たり）

ベンチャー 創出

- ②起業率

若者に魅力 ある雇用

- ③本社機能流出・流入数 ④若者就職者増加率

DX推進

- ⑤デジタルガバメント率（市町村）